

コミセンにインターネット環境の整備を

釧路市内の3つのコミュニティセンター（コア鳥取、コアかがやき、コアおぞら）の貸室には、インターネットの環境がありません。新型コロナウイルスの流行で、「感染対策だ」と言っても、市は大急ぎで市民文化会館やまなぼと、湿原の風アリーナ、児童館にも、一気にWi-Fiを整備しました。しかし、なぜコミセンは整備されずじまい。Wi-Fiどころか、有線のネット環境すらありません。

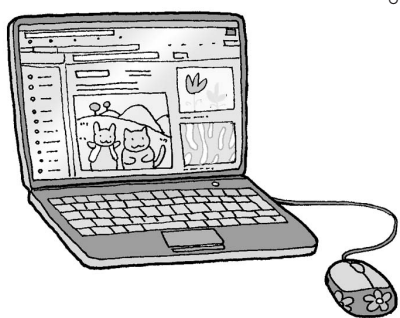


釧路市鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

コア三館は地域の大切な社会教育施設です。公民館のような役割も果たしています。社会教育活動では、気軽にインターネットで情報を集めたり、ネットで交流や会議をするのはいまや当たり前です。ネット環境があれば、「密」になることが避けられ、新型コロナウイルスの感染防止にも役立ちます。

早急に、Wi-Fi整備をする必要があります。またWi-Fi整備の以前にも、ネットの使用を希望する利用者には、「ポケットWi-Fi」を無料で貸し出すなどのサービスも始めるべきです。

同じコミセンの阿寒湖のまりむ館はWi-Fiが使えるのですから、行政の間に不平等も生まれてもいます。未整備となっている音別のコミセンも含め、早期整備を求めます。



ロシアはウクライナから直ちに撤退を！！

17日、日本共産党釧路地区の地方議員や支部、後援会が一斉に街頭に出て、『ロシアのウクライナ侵略』に抗議する宣伝行動を行いました。

市内西部地域でも、阿寒町では街頭演説10回、鳥取アークス前と大楽毛大橋のところでスタンディング行動が行われました。

阿寒町の街頭演説を終えて大楽毛のスタンディングに駆け付けた、村上議員。

「ロシアの行っていることは国連



釧路地区一斉街頭抗議行動

大楽毛後援会と一緒に宣伝する村上かずしげ議員

憲章に違反する侵略戦争そのもの。民間人を標的にするなど戦争犯罪も繰り返されている。核戦争の危機も迫っている。ただちにロシアはウクライナから撤退せよ。」「日本共産党はソ連のアフガン侵略にも一貫して反対してきた反戦平和の党です。ソ連に対して『あなたたちは社会主義ではない。対外的には覇権主義、国内では専制支配の危険な国家だと』批判してきた党です。」と訴えました。

当日の釧路市内の宣伝箇所は合計20か所を大きく超えました。



2022. 4. 24

村上かずしげ通信
発行 共産党釧路市議団

憲法9条を旗印に積極外交尽くして、平和を守りぬぐ